

# 株式会社横浜アートニクス

## 2019 年度環境経営レポート

(対象期間 2019 年6月1日～ 2020 年5月31日)



作成日： 2020年6月5日  
更新日：

目 次

項 目	ページ
<input type="checkbox"/> 環境経営方針	3
<input type="checkbox"/> 組織の概要	4
<input type="checkbox"/> 認証・登録の対象組織・活動	4
<input type="checkbox"/> 環境経営の組織図及び役割・責任・権限表	5
<input type="checkbox"/> 主な環境負荷の実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営目標及びその実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営計画の取組結果とその評価	7 ~ 8
<input type="checkbox"/> 次年度の環境経営計画書	9
<input type="checkbox"/> 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
<input type="checkbox"/> 外部からの環境上の苦情・要請等	10
<input type="checkbox"/> 緊急事態対応の試行・訓練	10
<input type="checkbox"/> 代表者による全体の評価と見直し・指示	11
<input type="checkbox"/> 取組紹介欄	11

# 環境経営方針

## 【基本理念】

当社は、電気・電子機器のソフト・ハードウェア開発において、地域ならびに環境への関連性を考慮し恒久的に環境に配慮した開発を行い社会に貢献します。

## 【行動方針】

1. 法令規制の理解に努め、当社に適用する環境関連法規を遵守します。
2. 以下の項目を重点目標とし、環境負荷の低減に努めます。
  - ①電力の使用量削減による二酸化炭素排出削減に努めます。
  - ②紙使用量の削減、廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出削減に努めます。
  - ③節水に努めます。
  - ④グリーン製品の積極的な購入に努めます。
  - ⑤環境へのプラス影響を促進するサービスの提供に、積極的に努めます。
3. 環境教育や社内広報活動により、環境マネジメント・システムの維持・向上に努めます。
4. 環境活動レポートを社内外へ公表します。
5. 環境方針に基づいた目標・活動計画について全社員への周知徹底に努め、社内のみにとどまらず、社会人としての環境保全意識の向上を図ります。

制定日：2008年10月1日

改定日：2015年6月1日

代表取締役社長 久家 雅英

## □組織の概要

更新日：2020年6月1日

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社 横浜アートニクス  
代表取締役社長 久家 雅英
- (2) 所在地  
本 社 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル606-B
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 技術部マネージャー 立部 貴己男 TEL:092-846-0611  
担当者 木實 幸代 TEL:092-846-0611

- (4) 事業内容  
電気・電子機器の設計開発  
・回路設計 ・FPGA(Fied Programmable gate array)設計  
・実装設計 ・プリント配線設計

- (5) 事業の規模  
売上高 240 百万円

	本 社	派遣先企業(※1)	合 計
従業員 名	9 名	20 名	29 名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	131.07 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	

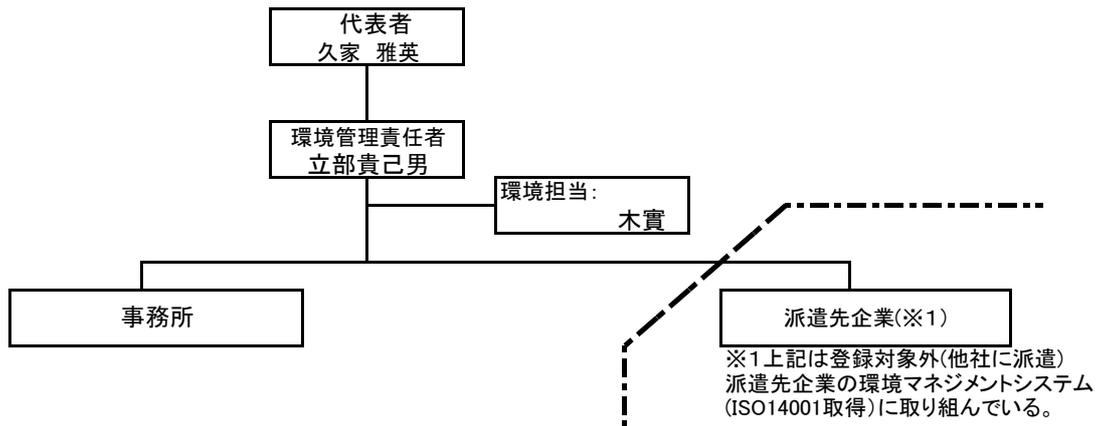
※1 20名は一般派遣従業員等として社外勤務の為、実質エコアクション対象従業員は9名である。

- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 横浜アートニクス  
対象事業所： 本 社  
活動： 電気・電子機器の設計開発

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する最高責任者</li> <li>環境経営システムの実施に必要な資源(資金、人材等)を用意する</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
活動参加者 事務所内従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動の推進</li> <li>環境管理責任者の指示への対応</li> </ul>

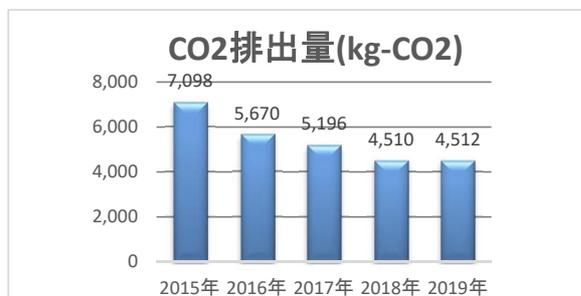
## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	7,098	5,670	5,196	4,510	4,512
一般廃棄物(ビル管理共通処理)	kg	201.0	190.0	171.0	162.5	122.1
コピー用紙使用量	kg	16.35	15.85	10.46	9.06	7.74

※二酸化炭素排出係数 #REF! kg-CO<sub>2</sub>/kWh (九州電力:2017年度調整後排出係数)

※水使用量:当社は入居ビル管理の為、使用量の数値的な把握が出来ません。

※化学物質:当社は化学物質の使用がありません。



## □環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2019年		評価	2020年 (目標)	2021年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	5,196	4,677	4,512	○	4,417	4,313
	基準年度比	2017年	90%	87%		85%	83%
一般廃棄物の削減	kg	171.0	162.5	122.1	○	136.8	133.4
	基準年度比	2017年	95%	71%		80%	78%
コピー用紙の削減	kg	10.46	8.89	7.74	○	8.37	8.16
	基準年度比	2017年	85%	74%		80%	78%
グリーン購入の推進	事務用品	—	—	20	×	—	—
	グリーン用品	—	—	10		—	—
	対応率(%)	—	50.5%	50.0%		51.0%	51.5%

※ コピー用紙(A4サイズ)は、坪量60g/m<sup>2</sup>(3.7422g/枚)にて算出した。

※ 水使用量に関しては入居ビル管理の為、日常的な節水のみを目標とし、基準値、目標値等は設定しない。

※ 化学物質は取り扱っていない為、基準値、目標値等は設定しない。

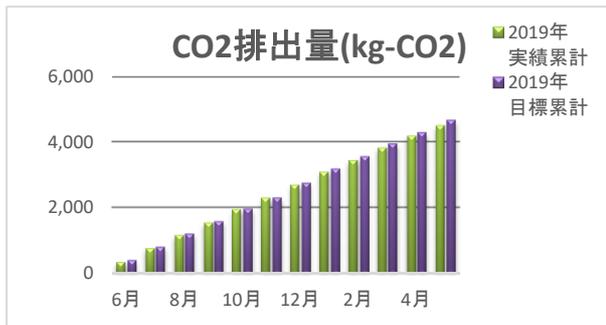
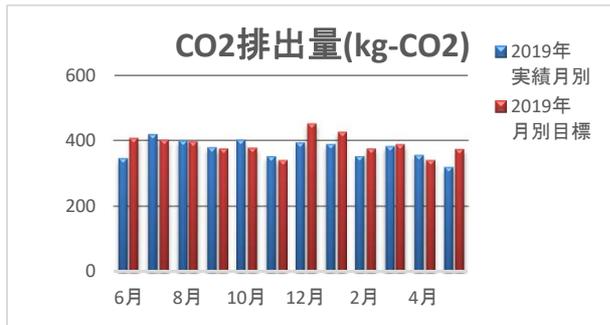
※ 製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主となり目標値は設定しない。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

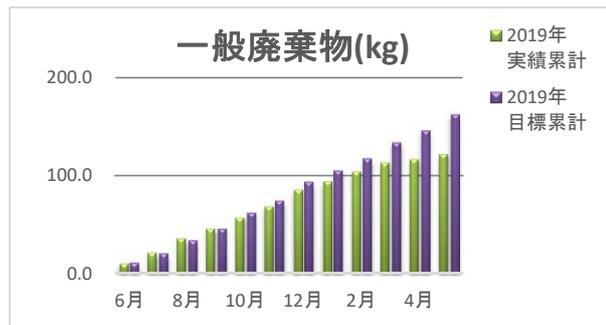
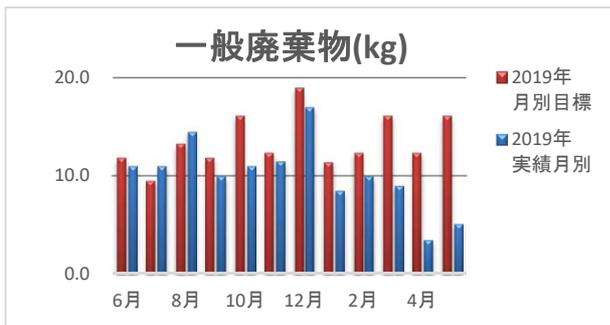
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更必要なし
・空調温度の適正化(冷房26℃~28℃ 暖房22℃~20℃)	◎	上半期は月別で目標は達成出来ない月が多かったが社員皆はきちんと取り組んでいたと思う。下半期は月別でも目標達成出来ていたのが良かった。ただ、前年年に比べると使用量が少し増えているのでそこは注意したい。	継続
・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。	△		継続
・クールビズ・ウォーンビズでの服装による温度調節	○		継続
・OA機器の省エネモード設定	◎	使用していない会議室の電気はこまめに消す等対策を取る。	継続
・朝8時30分まで消灯、昼休み消灯	◎		継続
・電気製品の電源OFFの徹底	○		継続
			(新)未使用設備の節電(消灯等)



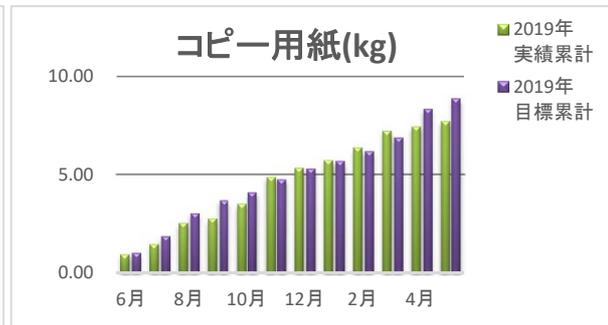
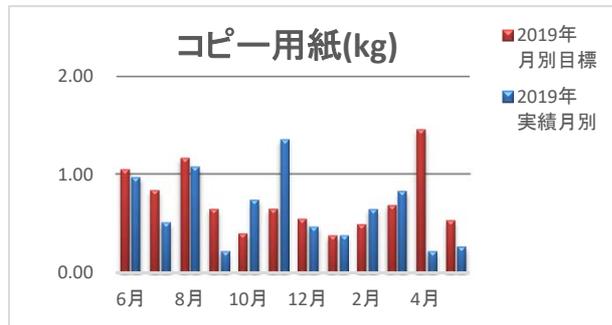
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年 月別目標	409	404	398	377	380	342	453	428	377	390	342	376
2019年 目標累計	409	813	1,212	1,589	1,968	2,310	2,764	3,192	3,569	3,959	4,301	4,677
2019年 実績月別	348	421	401	381	404	354	396	391	354	384	357	321
2019年 実績累計	348	769	1,170	1,551	1,955	2,309	2,705	3,096	3,450	3,834	4,192	4,512

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更必要なし
・燃えるゴミ=資源ゴミ(管理ビル共通処理方法変更)の為、分別の徹底を行う。	○	上半期は7月8月で少し目標値より多かったが毎月のゴミの量としてはほぼ変わらなかった。下半期は事務所内での勤務者が上半期に比べて少なかったり、3月~5月はテレワーク等もあり大幅にゴミの量が減った。	継続
・回収専用ボックスを設置し、用紙裏面の有効活用を推進する。	○		継続
・古紙のリサイクル化	○		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年 月別目標	11.9	9.5	13.3	11.9	16.2	12.4	19.0	11.4	12.4	16.2	12.4	16.2
2019年 目標累計	11.9	21.4	34.7	46.6	62.7	75.1	94.1	105.5	117.8	134.0	146.3	162.5
2019年 実績月別	11.0	11.0	14.5	10.0	11.0	11.5	17.0	8.5	10.0	9.0	3.5	5.1
2019年 実績累計	11.0	22.0	36.5	46.5	57.5	69.0	86.0	94.5	104.5	113.5	117.0	122.1

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。	数値目標変更必要なし
・プロジェクター使用による用紙使用量の削減	△	下半期に入って裏紙がほとんど無い為、コピー用紙の使用量が少し多くなった。しかし、新型コロナの影響もありテレワーク等で4月、5月の使用量が少なく総合的に目標達成出来た。	継続
・分割印刷推進による用紙使用量の削減	△		継続
・裏紙再利用	○		継続
・用紙（A4コピー用紙→坪量60g/m <sup>2</sup> （3.7422g））	○		継続



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年 月別目標	1.05	0.84	1.17	0.65	0.40	0.65	0.55	0.39	0.50	0.69	1.46	0.54
2019年 目標累計	1.05	1.90	3.06	3.72	4.12	4.77	5.33	5.71	6.21	6.90	8.35	8.89
2019年 実績月別	0.97	0.52	1.08	0.23	0.75	1.36	0.47	0.39	0.65	0.84	0.23	0.27
2019年 実績累計	0.97	1.49	2.57	2.80	3.54	4.90	5.37	5.75	6.40	7.24	7.46	7.74

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標	×	20品目中10品目のグリーン商品を購入した。	数値目標変更必要なし
・有害性の少ない資材の購入	○	目標達成出来なかったが、購入したい事務用品がある場合、必ずグリーン商品があるか確認を行い優先して購入する様に務める事が出来た事は評価したい。	継続
・事務用品グリーン購入対応率向上	×		継続

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	日常的に節水に取り組んだ。	数値目標は行わない
・事務所内節水ポスター掲示	○		継続
・日常的に節水を心掛ける	○		継続

製品への環境配慮	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	受託業務開発使用への進言を主に環境を配慮した設計に取り組んだ。	数値目標は行わない
・開発仕様への参画	○		継続
・低消費電力を目的とした装置設計	○		継続
・有害物質を含まない装置設計	○		継続

□次年度の環境経営計画書

2020 年度環境経営計画

方針	目 標	活動項目
二酸化炭素排出量削減	<b>電力による二酸化炭素削減</b>	・空調温度の適正化(冷房26℃~28℃ 暖房22℃~20℃) ・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。 ・クールビズ・ウォンビズでの服装による温度調節
	基準年度実績 11,223 kg-CO2/kWh	・OA機器の省エネモード設定
	2017 年 5,196 kg-CO2/kWh	・朝8時30分まで消灯、昼休み消灯
	使用する二酸化炭素排出係数: 0.463 kg-CO2/kWh	・電気製品の電源OFFの徹底
	2020 年度目標	・未使用設備の節電(消灯等)
	基準年度比 85% 削減率 -15% kg-CO2/kWh 目標値 4,147 kWh	【中期計画】 ・年度毎に見直し
廃棄物排出量削減	<b>一般廃棄物の削減</b>	・燃えるゴミ=資源ゴミ(管理ビル共通処理方法変更)の為、分別の徹底を行う。 ・回収専用ボックスを設置し、用紙裏面の有効活用を推進する。 ・古紙のリサイクル化
	基準年度実績 171 kg	
	2017 年 171 kg	
	2020 年度目標	
	基準年度比 80% 削減率 -20% 目標値 136.8 kg	【中期計画】 ・年度毎に見直し
	2021 年度目標 133.4 78% 2022 年度目標 130.0 76%	
コピー用紙の削減	<b>コピー用紙の削減</b>	・プロジェクター使用による用紙使用量の削減 ・分割印刷推進による用紙使用量の削減 ・裏紙再利用 ・用紙(A4コピー用紙→坪量60g/m <sup>2</sup> (3.7422g))
	基準年度実績 10.46 kg	
	2017 年 10.46 kg	
	2020 年度目標	
	基準年度比 80% 削減率 -20% 目標値 8.37 kg	【中期計画】 ・年度毎に見直し
	2021 年度目標 8.16 78% 2022 年度目標 7.95 76%	
グリーン購入	<b>グリーン購入の推進</b>	・有害性の少ない資材の購入 ・事務用品グリーン購入対応率向上
	事務用品のグリーン購入比率向上	
	2020 年度目標 51.0% 2021 年度目標 51.5% 2022 年度目標 51.5%	【中期計画】 ・年度毎に見直し
製品への環境配慮	<b>製品への環境配慮</b>	・開発仕様への参画 ・低消費電力を目的とした装置設計 ・有害物質を含まない装置設計
	※ 製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主なため目標値は設定しない。	
水道水の削減	<b>水道水の削減</b>	・事務所内節水ポスター掲示 ・日常的に節水を心掛ける
	水使用量はビル管理の為、測定及び目標設定が不能な為日常的な節水のみを目標とし、基準値目標値等は設定しない。	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	当社の対応	遵守状
廃棄物処理法	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○
資源有効利用促進法	ディスプレイ・パソコン・複合機等	期間中の廃棄OA機器なし	○
小型家電リサイクル法	固定電話・電卓・ACアダプター・ケーブル等	期間中の廃棄小型家電なし	○
家電リサイクル法	冷蔵庫・テレビ	期間中の廃棄家電なし	○
消防法	管理ビルによる総合防災訓練	総合防災訓練(2019/10月参加)	○
労働基準法	年5日の年次有休休暇の確実な取得 時間外及び休日の労働	社員が請求する時季に与える。 「36協定届」の届け出	○
福岡市廃棄物減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□外部からの環境上の苦情・要請等**  
 ・特になし

**□緊急事態対応の試行・訓練**

緊急事態の想定: 天神付近を震源とした震度6弱程度の地震が発生、その後しばらくして当ビル高層棟7階湯沸室付近で出火	
■実施日: 2019年10月9日(水)(15:00~16:30)	■実施場所: 当ビル1階エントラホール
■参加者: 林田、古藤、、木寛、RAFAELA、CABATIC	
■実施内容: <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	
14:55 訓練予告放送	
15:00 訓練開始 ・地震発生、緊急地震速報で開始 (警報音:チャイム「緊急地震速報です強い揺れに注意して下さい」 地震情報⇒館内放送が流れる。	
15:05頃 火災発生(7階湯沸室付近)⇒防災センターより初期消火班が初期消火へ向かう。	
↓	
15:15頃 避難開始(避難放送)⇒1階避難場所へ避難	
↓	
15:30頃 避難⇒完了(自衛消防隊本部受付へ会社名と避難人数を報告)	
↓	
【全員避難後】 早良消防署からの総評 【避難訓練終了⇒消火訓練、人命救助訓練を早良消防署の下に実施】 16:00~ 消火器による消火訓練、AEDを使用した人命救助訓練の実施	
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
今年も福岡市中央区天神付近を震源とした震度6弱の想定で総合防災訓練が行われました。 参加者は5名でしたが、今年入社した2名の外国人にどの様に避難するのかきちんと説明しながら行った。まだ日本語に慣れない環境の中、館内放送の内容に従って速やかに避難場所まで避難することが出来たと思う。 又、避難訓練終了後は希望者のみ消火訓練、AED訓練を見学した。	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年6月5日

### 【評価】

今年度も二酸化炭素排出量、一般廃棄物、コピー用紙使用量を削減し、環境目標は達成したが、二酸化炭素排出量については前期より若干の増加傾向が認められた。そのため、不在照明の消灯や未使用設備の節電徹底など更なる改善に努めるよう指示した。

昨年度、生物多様性保全への取組みとして「使用済切手等の収集による環境支援援助」に取り組んだが、企業規模が小さいためか規定量に達せず提供することがかなわなかった。次年度も継続し、提供実現を目指す。

今回発生した新型コロナウイルス禍の影響で、就労体制にも今までにない大きな変化が発生することが予想される。過去に例のない不測の事態に暗中模索するなか、基本理念をもとに社員一丸となって環境経営に取り組んでいく所存です。

### 【見直し】

・目標値は変更しないが、計画の項目で未使用設備の節電(消灯など)を追加する。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □取組紹介欄

生物多様性保全に向けた取組みを身近なところからおこなってまいります。その一歩として使用済切手や書き損じハガキ等の収集を実施し、市民団体のタンザニアポレポクラブに送ることで、世界遺産にも登録されているキリマンジャロ山(東アフリカ・タンザニア)での植林活動を支援していきたいと思っております。また、特定非営利活動法人難民支援協会への寄付を行っています。



(2019年度収集分)